



平成27年11月11日

各 位

会社名 株式会社 ホットリンク  
代表者名 代表取締役社長CEO 内山 幸樹  
(コード番号：3680 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CFO 高尾 秀二郎  
( TEL. 03-5745-3900)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年2月12日に公表した平成27年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成27年12月期通期 連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想 (A)	2,423	208	106	10.89
今回修正予想 (B)	2,409	△31	△124	△12.60
増減額 (B - A)	△14	△239	△230	
増減率 (%)	△0.6	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年12月期)	1,028	146	74	7.63

#### 2. 修正の理由

当社連結売上高については、国内及び海外事業とも拡大しており、通期業績につきましても、期初に開示いたしました業績予想とほぼ同等の水準で推移しております。

一方、利益面においては、主に当社が当期末よりIFRS（国際会計基準）に移行するに当たり、期初の見積もりから会計処理の変更があったこと、平成27年1月から当社の連結子会社となった米国Effyis社の費用の増加及び為替差損の計上を行ったことにより営業利益及び当期利益が当初予想を下回る見込みとなりました。

海外事業における主な費用の増加要因は次の通りです。

##### ①IFRS（国際会計基準）への移行に伴う会計処理方法の変更に伴うもの

主な内容は、減価償却費の計算方法を米国で定められている2倍定率法からIFRSで定められている定額法に変更したことにより、過年度に遡って計算し直した結果、減価償却費が46百万円増加しました。また、買収直前期の平成26年12月期のEffyis社の財務諸表で費用計上していた従業員に対するキャッシュインセンティブプランを平成27年以降に修正したことによって、費用が60百万円増加しました。なお、キャッシュインセンティブプランの費用は平成29年12月期まで毎期60百万円計上されます。

##### ②事業拡大のための先行投資及び管理体制の強化に伴う費用の増加

主な内容は、顧客向けポータルサイトの構築及び営業体制強化に伴う要員の新規採用、並びに管理体制の強化に伴う採用や会計コンサル費用、会計監査費用の増加が77百万円です。

##### ③買収後の状況の変化による回収不能債権の損失処理30百万円

##### ④Effyis社の買収資金の送金に伴う為替差損33百万円

国内事業については、事業拡大に伴うクラウドサーバーの費用が30百万円増加しましたが、新

サービスであるインバウンド消費に特化したレポートサービス「図解 中国トレンド Express」も好調であることから、順調に事業が拡大しております。

なお、上記の結果を受けて、法人所得税等が当初予想に対し46百万円減少いたしました。

### 3. 今後の取り組み

今期については、Effyis社を買収し、上場会社の子会社として管理体制の構築に注力してきました。そのため、上記のように想定外の費用発生及び滞留債権の発生があったものの、来期以降につながる体制整備が行われたと判断しております。来期以降は、費用に関する予実管理を厳格にするとともに、売上拡大に、より一層注力していく方針です。

なお、上記費用増加のうち、回収不能債権の損失処理30百万円、為替差損33百万円、及び前回発表予想に組み込んでいた買収取得にかかる費用38百万円、IFRS導入やPMIコンサル費用12百万円及び会計処理変更に伴う費用12百万円は来期以降発生しないことから、当社グループ全体として来期は上記合計の125百万円の費用削減ができるものと伴に堅調な売上拡大と相まって十分な利益を生み出すことができると考えております。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上